

現在募集中の



# 助成金等の情報

## 地域活動全般



### ●平成30年度大阪市市民活動推進助成事業

対象：地域課題・社会課題の解決を目的とする公益的な事業  
期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日  
金額：1事業 100万円以内  
（対象経費総額の50%以内）  
締切：平成30年2月6日（郵送）  
※持込みは2月2日～6日  
HP：<http://www.city.osaka.lg.jp/shimin/page/0000335396.html#gaiyou>

### ●冠婚葬祭文化振興財団の社会貢献基金助成

対象：高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉、環境・文化財保全、地域つながり、冠婚葬祭継承  
期間：平成30年5月中・下旬の交付決定日  
～平成31年3月31日  
金額：上限200万円  
締切：平成30年2月28日  
HP：<http://www.ceremony-culture.jp/social/fund/>



## 子ども・高齢者



### ●CO-OP共済 「2018年度地域ささえあい助成」

対象：くらしを守り、くらしの困りごとの解決、命を守りその人らしい生き方ができるようにする、女性と子どもが生き生きする  
※事業はCO-OPと共同で実施する事  
期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日  
金額：上限100万円を基本とする  
締切：平成30年1月31日  
HP：<http://coopkyosai.coop/about/csr/socialwelfare/2018.html>

### ●近畿ろうきんNPOアワード

対象：子どもの成長を応援する事業、子育て環境を整える事業  
期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日  
金額：〈はばたきコース〉大賞50万円他  
〈はぐくみコース〉はぐくみ賞10万円（※予算規模200万円以下の団体のみ応募可）  
締切：平成30年1月31日  
HP：[http://www.rokin.or.jp/npo/npo\\_award/](http://www.rokin.or.jp/npo/npo_award/)

### ●2017年度公益財団法人ノエビア グリーン財団助成

対象：児童、青少年の健全育成の向上を目的とした体験活動、およびスポーツの振興に関する事業。  
期間：平成30年5月1日～平成31年4月30日  
金額：上限300万円  
締切：平成30年2月28日  
HP：<http://www.noevirgreen.or.jp/grants/organization/index.htm>

### ●平成30年度子どもゆめ基金助成金(後期)

対象：子どもの体験活動、読書活動、子ども向け教材開発・普及活動  
期間：平成30年10月1日～平成31年3月31日  
金額：〈体験・読書〉全国規模300万円、都道府県規模100万円、市区町村規模50万円  
〈教材開発〉1,000万円  
締切：平成30年5月1日～6月5日  
（※WEBは6月19日まで）  
HP：[http://yumekikin.niye.go.jp/jyosei/taiken\\_boshu.html](http://yumekikin.niye.go.jp/jyosei/taiken_boshu.html)

## その他情報

### ◆大阪市市民活動総合ポータルサイト

大阪市で活動する「市民活動団体」や「社会貢献活動を行う企業」の情報を調べたり、市民活動に必要な情報を得ることを目的とした総合ポータルサイトです。  
HP：<http://kyodo-portal.city.osaka.jp/>

上記以外にも、例年多くの助成プログラムが発表され、地域課題の解決などに使われています。  
助成の情報や申請書類の書き方など、解らない事があれば、お気軽にまちづくりセンターの支援員にご相談ください



淀川区まちづくりセンター  
TEL: 06-6309-5656

# How to 助成プログラム

## ◆◆◆助成プログラムって何?◆◆◆

市民活動団体やNPOが行う事業の意義を認めた、民間・企業の基金や財団などが、事業や団体の発展を支援するために資金を提供するものです。

また資金(助成金)以外に、人材の提供(大阪市地域公共人材・プロボノ等)、パソコンやソフトの提供(はじまるくんパソコン寄贈・テックスープ等)、物品提供(日本財団青パト・伊藤忠子ども文庫等)、表彰(ろうきんNPOアワード・大阪NPOセンターCSOアワード等)なども助成プログラムとして提供されています。



## ◆◆◆助成プログラムの特徴◆◆◆

1. 用途・用途は制限されているものが多い。  
・対象となる事業の種類・使える費目  
…他に予算変更や、自己負担額割合など
2. 選者があり、必ず採択されるわけではない。  
また、書類選考後にプレゼンや電話でのヒアリングがある場合もある。
3. 助成対象事業の実施期間が定められているものが多い。
4. 資金助成は事業終了後の精算払いのものも多いため、事業報告後まで費用の立て替えが発生する可能性もある。

## ◆◆◆助成プログラム申請をするために◆◆◆

### 1. 団体の情報を整備しておく

申請の際、団体情報の記載は必須です。

時間のある時に団体の情報を整備し、データ化しておく、申請書作成時に便利です。

申請に必要な団体情報は「CANPAN」の団体情報データベースの項目が参考になります。

<http://fields.canpan.info/organization/>

### 2. ネット(ホームページ、ブログ、facebookなど)での情報発信を心がける

申請をする場合、できるだけ団体の定款や、事業・会計関係書類、最新の活動状況をネットで発信しておいた方が良いでしょう。理由は…

①助成決定時の条件として、ネットを利用した事業の情報発信が義務付けられているものがある

②選考の際、助成プログラム担当者や審査員がきちんと活動している団体かネットで確認する。

といった事が多いからです。  
きちんとした情報発信が、団体の信頼度に繋がります。

### 3. 助成プログラムの内容をチェックする

応募したい助成プログラムについて、ホームページ等でしっかり情報を確認しましょう。

・募集要項に記載されている助成プログラムの内容

・過去の助成実績の一覧

・申請書の書き方(掲載されている場合)

などは必ず確認し、助成内容の特徴をつかみましょう。

### 4. 助成金の募集期間を確認し、スケジュールを考えておく。

助成プログラムは、毎年同じ時期に募集を行っているところが多くあります。

団体の活動や運営のステップアップに必要なタイミングで助成を受けられるように、募集期間の情報を収集、整理しておきましょう。

### 5. 助成金を申請したい事業の情報を整理

助成金を申請したい事業について、情報収集を行い、データを整備しておきましょう。

申請時「事業の対象者は誰か?」「事業のニーズは?」「事業の考えられる成果は?」「事業の効果を高くする工夫は?」「事業を継続するために考えている事は?」などがよく尋ねられています。

・事業をするきっかけとなった、地域課題の現状  
(例:「住民の35.2%が65歳以上の高齢者で、内70%が独居」、「独居高齢者の半数以上が、1週間誰とも話をしない日がある」など)

・地域課題に関するニーズを把握する  
(例:「独居高齢者の約半数が、誰かと話をする場が欲しいと思っている」など)

・活動の対象と考えている地域だけでなく、全国的な状況が解ればなお良い。

情報を整理しておくことによって、事業を行う意義や目的などが明確になり、申請書類の作成がしやすくなります。



助成金とか貰うの、めっちゃくちゃ面倒くさいんや…

…と思っているあなたに…

## ◆◆◆助成プログラム申請のメリット◆◆◆

1. 助成機関から援助を受けている事で、団体の信頼度UP!
2. 助成機関から、継続可能で波及効果の高い事業のノウハウを得ることも
3. 事業終了後に助成機関の広報ツールで、事業の成果や団体の情報を掲載、宣伝してもらえる
4. 申請書を作成する事で、団体や事業の“意義”を見つめ直す事ができる

## 最後に…

助成は継続的に受ける事ができないものがあります。

「本当に“今”ウチの団体に助成が必要か?」を良く考え、応募するようにしましょう。

あと、全国的な募集より、地域限定のものの方が、ハードルが低いかも?

